資料4

柏市産業振興会議（第2回）

統計データに基づく
市内における産業構造（追加報告）

1．調査概要

国が提供する「地域経済分析システム（RESAS（リーサス））」等を活用し、以下の事項について、全国や製造業が強い地域との比較等より、柏市の産業構造の分析を行い、特性、強み・弱み等を把握する。

①市内で稼いでいる産業
・製造品出荷額等のシェア、付加価値額、労働生産性 など

②市内経済の循環の高い産業
・新たな需要による市内経済への波及が高い産業 など

③市内経済を支える産業
・市外取引の多い産業、市内取引の多い産業

④市内製造業の市外との結びつき
・販売、仕入れの多い地域

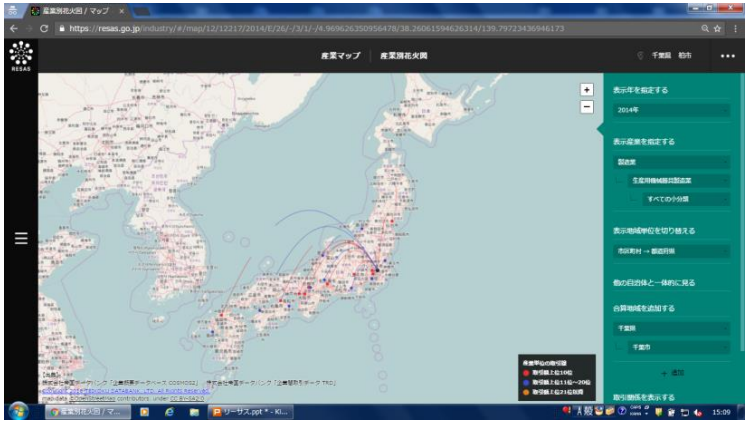
第1回会議（前回）

第2回会議（本日）

【地域経済分析システム（RESAS（リーサス））について】

- 自治体が客観的なデータにもとづき、自らの地域の現状と課題を把握し、戦略策定等の基礎資料として活用すること等を目的に、経済産業省が開発した「ビッグデータを活用した地域経済の見える化システム」
- 経済・産業分野を中心に、国の統計調査、民間による調査等様々なデータが搭載され、誰でもインターネット上で活用することができる（一部、自治体限定の分析メニューあり）

▼RESAS画面



2．市内経済を支える産業①：市外への販売量・市内からの調達量

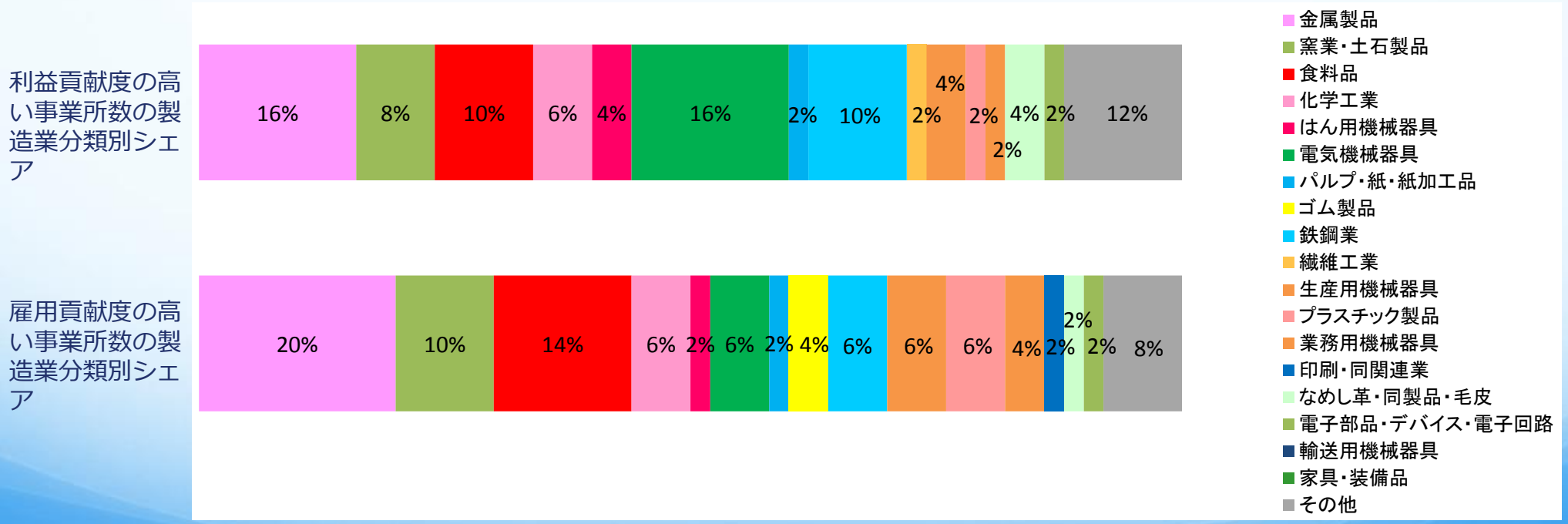
- 「市外への販売量の多い事業所」トップ50の売上高の製造業分類別シェアを見ると、金属製品が33.5%と最も多く、次いで、窯業・土石製品（12.7%）、食料品（10.7%）の順となっている。
- 「市内からの調達が多い事業所」トップ50の売上高の製造業分類別シェアを見ると、金属製品が27.0%と最も多く、次いで食料品（13.1%）、窯業・土石製品（12.6%）の順となっている。

［柏市で市外への販売量が多い事業所トップ５０の売上高の製造業分類別シェア、
市内からの調達が多い事業所トップ５０の売上高の製造業分類別シェア（H26）］

2．市内経済を支える産業②：利益貢献度･雇用貢献度

・「利益貢献度の高い事業所」トップ50の製造業分類別シェアを見ると、電気機械器具および金属製品がそれぞれ16%と最も多く、次いで、食料品および鉄鋼業（各10%）、化学工業（6%）の順となっている。
・「雇用貢献度の高い事業所」トップ50の製造業分類別シェアを見ると、金属製品が20%と最も多く、次いで食料品（14%）、窯業・土石製品（10%）の順となっている。

［柏市で利益貢献度の高い事業所トップ５０の事業所数の製造業分類別シェア、
雇用貢献度の高い事業所トップ５０の事業所数の製造業分類別シェア（H26）］



［参考］

■利益貢献度の高い企業について

・利益貢献度は過去3年間の当期純利益の年間平均値を意味し、利益貢献度の高い企業は、過去3年間で安定して市内で利益をあげた企業であり、利益及び納税を通じて地域経済に貢献している企業を示す。

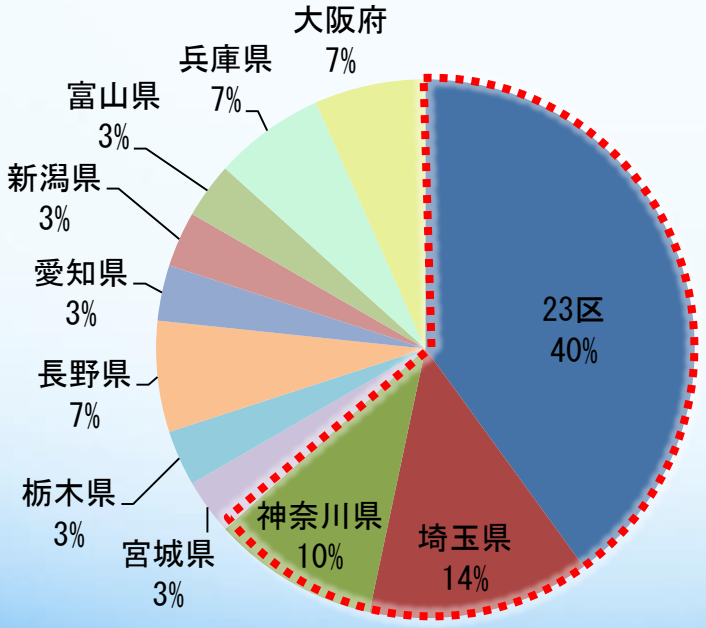
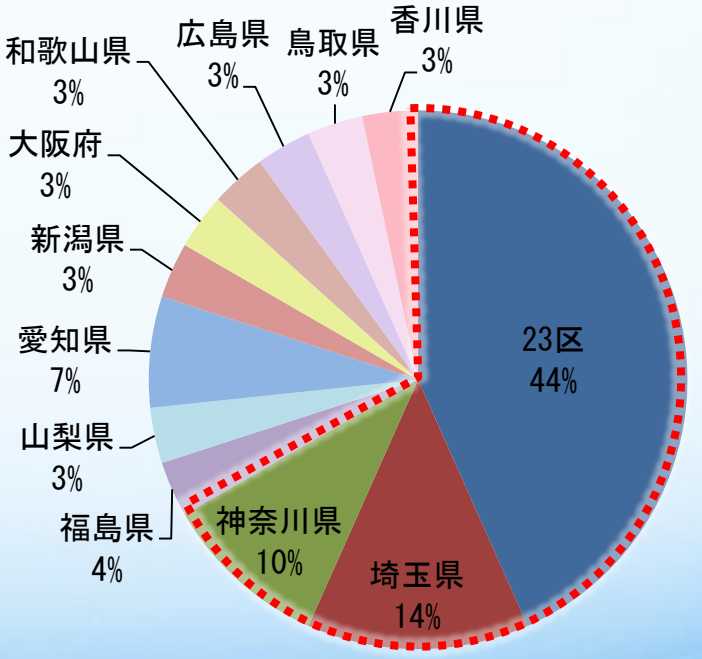
■雇用貢献度の高い企業について

・雇用貢献度は過去5年間の従業員平均増減率を意味し、雇用貢献度の高い企業は、過去5年間で安定して雇用を維持、または着実に雇用を増加している企業であり、雇用創出・維持を通じて、地域経済に貢献している企業を示す。

3．柏市製造業の市外との結びつき（販売･仕入の多い市町村）

・「柏市製造業からの販売の多い市区町村」トップ30を見ると、1都3県の市区町村が全体の63%（19/30）を占める。
・同様に「柏市製造業への仕入れの多い市区町村」トップ30についても、1都3県の市区町村が全体の67%（20/30）を占める。

［柏市製造業からの販売の多い市区町村トップ30（H26）］



［柏市製造業への仕入の多い市区町村トップ30（H26）］